

令和6年度 第3回 北部地域振興交流拠点連絡調整会議【概要】

日 時：令和7年2月25日（火）

開催方法：書面開催【期間】令和7年2月18日（火）から2月25日（火）まで

出席者：

所属	職名	氏名	備考
埼玉県	企画財政部 政策・財務局長	都丸 久	議長
	産業労働部 産業政策局長	浪江 治	
	企画財政部 北部拠点政策幹	山川 直也	
	産業労働部 産業拠点整備推進幹	北島 義丈	
熊谷市	総合政策部長	増田 和昭	副議長
	総務部長	長谷川 和博	
	産業振興部長	長谷川 秀明	
	都市整備部長	小平 明彦	
	建設部長	山下 克巳	
	総合政策部 企画課 北部地域振興交流拠点担当副参事	持田 保彦	

1 会議の進め方と目的

- ・ 本日の会議は、北部地域振興交流拠点整備に向けた県と熊谷市の基本構想案について情報共有を行うとともに、今後の県市双方の予定について確認するものである。

2 県及び熊谷市の検討状況に関する主な説明

(埼玉県)

- ・ 県が策定した「北部地域振興交流拠点基本構想案」の概要は次のとおり。
- ・ 北部地域振興交流拠点の「目指す姿」として、「DXの進展を前提とした未来の公共施設の先行モデル」を基本理念に掲げた。この基本理念のもとに「県北部地域の活力の向上」や「未来の県庁の先行モデル機能の実現」など5つの基本方針を定めた。
- ・ また、「目指す姿」の項目で「地域の活力向上機能」と「未来の県庁の先行モデル機能」という機能ごとに施設を整備する「2施設体制」を示した。
- ・ 「施設規模」は、熊谷市役所も北部地域振興交流拠点に整備することを前提に全体で延床面積約 45,000 m²と試算した。
- ・ 「施設配置の考え方及び建設予定地」として、当初整備予定地（事業予定地①）に建設するA棟には産業振興施設、新県立図書館の窓口機能等のほか熊谷市役所が入り、熊谷地方庁舎敷地内の大駐車場（事業予定地②）に建設するB棟には「未来の県庁の先行モデル」として県地域機関や本庁機能の一部が入る。

- ・ 令和7年度、県では基本構想を具体化する基本計画を策定するとともに、産業振興施設について、食と農業などのコンセプトや産業支援の取組イメージをさらに深め、個々の機能の規模や配置、施策等との組み合わせを検討する。これらを行うため、必要な予算を令和7年度当初予算に計上した。
なお、基本計画策定に要する経費のうち、A棟における県市の想定延床面積を踏まえ、市からの負担金を歳入予算に計上している。

(熊谷市)

- ・ 市が策定した「熊谷市庁舎整備基本構想案」の概要は次のとおり。
- ・ 「現状と課題」に記載した現庁舎の老朽化や狭あい化、バリアフリー対応不足などを踏まえ、「再整備の必要性」において現庁舎の課題解消や長寿命化のコスト等を総合的に判断し、再整備が妥当とした。
- ・ 市庁舎の整備にあたっての「基本理念」として「つなぐ」「はぐくむ」「まもる」を掲げ、この基本理念のもとに「誰にでも利用しやすい便利な庁舎」や「多様な人が集まり活力と魅力のあふれる庁舎」など6つの基本方針を定めた。
- ・ 「施設規模」は、分庁舎の本部機能を本庁舎に集約することを前提に延床面積21,000㎡～22,000㎡と想定した。市庁舎の「整備エリア」は、①現在の本庁舎の位置で建て替える、②コミュニティひろばに建設する、③現在の本庁舎西側駐車場に建設するという3つの整備パターンを比較衡量し、コミュニティひろばを最有力の整備候補地とした。
- ・ コミュニティひろばを候補地とする場合、県が整備検討を進めている北部地域振興交流拠点に整備することとなるので、市役所の規模や導入機能等については県と随時調整しながら検討を進めたい。
- ・ 令和7年度、市では市庁舎整備基本構想を具現化する基本計画を策定する。この検討に必要な経費とあわせ、県が策定予定の北部地域振興交流拠点基本計画のうち市に関連する検討費用（負担金）を令和7年度当初予算に計上した。

3 その他

- ・ 令和7年度に予定している北部地域振興交流拠点の基本計画策定にあたり、県市ともにスピード感をもって検討・調整していくことを双方で確認した。